

問 1

(解答例) 219字

南九州に広く分布するシラスの語源は白い砂といわれ、白い火山性の堆積物のことである。一般には、約2万9千年前の、始良カルデラを形成させた大噴火に伴って噴出した入戸火砕流堆積物のみをシラスと呼んでいる。シラスは崩れやすく災害を引き起こしやすいと言われているが、シラス自身は堆積後の熱と圧密で凝固しており、比較的強い。しかし、流水と打撃に弱いという欠点を持っている。この欠点の為、梅雨や台風の時期にシラスの崖が崩落し、災害をもたらすことがある。

問 2

(解答例) 189字

新政府樹立後、中央集権化が進められる中、封建制度の打破が必要と感じた小松帯刀は軍事力の強化に努めた。薩摩藩においては桂久武を中心に寺社領の没収が徹底的に行われた結果、全寺院が廃寺となった。これを廃仏毀釈という。武士制度の崩壊を予見していた桂は、これらの領地を下級武士に与え、経済力を向上させた。これにより、中央政府でも下級武士が活躍するようになり、廃藩置県が実現することとなった。

問 3

(解答例) 205字

島尾敏雄は1917(大正6)年4月に横浜市で生まれ、ことし生誕100年を迎えた。太平洋戦争末期、海軍の水上特攻艇「震洋」の指揮官として奄美・加計呂麻島に赴き、ここで終戦を迎える。55(昭和30)年に東京から奄美大島へ移住し、県立図書館奄美分館長を務めた。61(同36)年、島尾文学の頂点とされる『死の棘』で第11回芸術選奨を受賞、後に作品は映画化された。日本列島を太平洋の島々の連なりと位置付ける、「ヤポネシア」の概念も提示した。

問 4

(解答例) 201字

本県には、1934年に国立公園第一号に指定された霧島国立公園がある。同公園は、1964年に鹿児島湾の一部と屋久島地区を加えて霧島屋久国立公園になったが、2012年に屋久島国立公園と分けられ、鹿児島湾奥の海域や沿岸地域を新たに加えて霧島錦江湾国立公園が誕生した。また、長島町の一部は1956年に指定された雲仙天草国立公園に含まれている。さらに2017年3月には奄美群島が奄美群島国立公園に指定されている。

問 5

(解答例)

【1】①高山町 ②おおすみ ③はやぶさ ④イプシロン ⑤二階堂

【2】212字

東串良町は大隅半島の中部東岸に位置し、豊かな田園や自然に囲まれている。主な産業は農業で、ピーマンやきゅうりはかごしまブランドに指定され、町花であるルーピンが満開になる毎年4月には「東串良ルーピンフェスティバル」が開催されている。

史跡名勝天然記念物に指定される唐仁原古墳群は、県内最大級の前方後円墳である「大塚古墳」を中心に大小140基余りが点在しており、神武天皇が旅立たれたといわれる柏原海岸には御発航記念碑が建てられている。